

古代米の加工品群 ふるさと名物応援宣言

本市は、神亀元年（西暦724年）に陸奥国^{むつのくに}の国府として多賀城が置かれた地であり、奈良時代から平安時代にかけて、東北地方の政治・軍事・文化の中心地でした。陸奥国府^{むつこくふ}、鎮守府として栄えた名残を今に伝える「多賀城跡」。この地から、古代の米に関する木簡が出土しています。

これらのことから、「古代米」は本市にゆかりの深い食材であり、美容や健康に効果があるといわれる「古代米」を活用した加工品について、これまで地元事業者の皆様が一体となり、ブランド化に向け取り組んできたところです。

こうした中、平成28年1月には、古代米を活用した多賀城の新しいグルメブランド「しろのむらさき」が誕生し、次々と新しい商品が誕生し続けています。

今後、地元事業者、商工団体、市民など多賀城市が一丸となって、本市のふるさと名物として「古代米の加工品群」を全国津々浦々へと発信し、応援していくことをここに宣言します。

平成29年3月16日

多賀城市長 菊地 健次郎